

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：井手町

重点目標	生まれたこと、住んだことを誇れるまち 井手町を目指す		
	事業群	構成事業名	
	豊かな自然に包まれた個性と秩序のあるまちづくり	下排水路改修	
事業群全体による 成果の概要	井手町の豊かな自然を次世代に残していくことが求められている中、下排水路の改修を実施することにより豊かな自然環境を活かし快適な生活環境の推進に寄与することができた。		
	※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:井手町

事業名		下排水路改修			
事業の概要		老朽化した下排水路の改修及び蓋付き下排水路の改修工事及び測量設計			
		事業期間	平成20年度		
		総事業費	14,389	本年度事業費	14,389
事業評価	事業の必要性	老朽化により漏水などがある箇所があり、降雨時には排水があふれるなど、住民生活に影響が出ている。			
	事業の有効性	降雨時の安全を確保するとともに、蓋付きの下排水路に改修することで、道路幅員の拡幅ができ、歩行者の安全が図ることができる。			
	事業の効率性	降雨による宅地への雨水流入等が解消されてきている。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果 下排水路改修により、地元住民主体による日常的な維持管理の必要性が再認識され、環境保全に対する認識の向上につながることができた。			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：井手町

重点目標	生まれたこと、住んだことを誇れるまち 井手町を目指す		
	事業群	構成事業名	
	創造性と思いやりにあふれるひとを育てるまちづくり	公共施設バリアフリー整備	
		玉川保育園改修	
		いづみ保育園改修	
		自然休養村管理センター改修	
		ボランティアコーディネーター設置	
		健康づくり推進	
		こどもいきいき未来館	
事業群全体による 成果の概要	<p>公共施設のバリアフリー化や生涯学習の拠点である自然休養村管理センター並びに児童福祉施設の改修等により、創造性と思いやりにあふれるひとを育てる環境整備に大きく寄与することができた。</p> <p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名: 井手町

事業名		公共施設バリアフリー整備			
事業の概要		高齢者や障害のある方、子育てをしておられる方が利用しやすい公共施設となるよう、保健センター及び自然休養村管理センターに自動ドアの設置。老人福祉センターにオストメイト対応トイレ及び折りたたみ式オムツ替えベットの設置、点字ブロックや障害者駐車場区画線の整備を行う。			
		事業期間	平成20年度		
		総事業費	7,358	本年度事業費	7,358
事業評価	事業の必要性	利用者が不自由なく利用できる人に優しい公共施設を整備する必要があるため。			
	事業の有効性				
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
		6 その他の成果 高齢者や障害のある方、子育てをしている方に配慮した設備を新たに設置したことにより、利用者数が増加した。			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名: 井手町

事業名		玉川保育園改修					
事業の概要		同園に設置している避難用滑り台の改修、隣接地からの土砂流入を防ぐためのフェンスを新設し、園児の安全安心を確保する。					
		事業期間	平成20年度				
		総事業費	1,381	本年度事業費	1,381	交付金交付額	690
事業評価	事業の必要性	園児や保護者の安全安心を確保するため。					
	事業の有効性						
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果 緊急時に使用する設備の改修及び園児を危険から守るための設備を設置することにより、園児及び保護者の安全安心を確保することができた。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名: 井手町

事業名		いづみ保育園改修			
事業の概要		同園に設置している避難用滑り台及び老朽化しているプールの改修、2階ベランダの防水処理を行う。			
		事業期間	平成20年度		
		総事業費	4,735	本年度事業費	4,735
事業評価	事業の必要性	園児や保護者の安全安心を確保するため。			
	事業の有効性				
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果 緊急時に使用する設備やプールの改修及びベランダの防水処理を行うことにより、園児及び保護者の安全安心を確保することができた。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名：井手町

事業名		自然休養村管理センター改修			
事業の概要		当該施設は、生涯学習の拠点として活用されているが、昭和54年完成から28年が経過し、これまで一部改修や耐震工事を行い施設の維持管理に努めてきた。今年度は、屋根及び会議室、内装等の改修を行う。			
		事業期間	平成20年度		
		総事業費	25,760	本年度事業費	25,760
事業評価	事業の必要性	昭和54年の当該施設完成から28年が経過しており、生涯学習の拠点として重要な施設であるため、施設維持のため必要な改修を行う。			
	事業の有効性				
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
		6 その他の成果 生涯学習の拠点であるとともに、ふるさとを愛する心を育て町の文化を未来に伝える施設でもある当該施設を改修することにより、充実した施設管理が可能となった。			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名: 井手町

事業名		ボランティアコーディネーター設置			
事業の概要		井手町社会福祉協議会が「ボランティアコーディネーター設置事業実施要綱」に基づき実施する事業。主な事業は、「ボランティア運営委員会の運営」「ボランティア活動に対する支援・協力」「ボランティア活動の発掘・育成強化」など。			
		事業期間	平成20年度		
		総事業費	4,004	本年度事業費	4,004
事業評価	事業の必要性	井手町でのボランティア人数は400人を超え、活動の場も広がっている。今後も「住民参加によるまちづくり」を進めるうえで、ボランティアコーディネーターの役割が一層求められるため。			
	事業の有効性	一人ひとりの住民が、自らもつ力を発揮しあってこそ実現できるボランティア活動の振興を目指し、地域を基盤として充実した活動を行えるよう、支援・援助を行う。			
	事業の効率性	地域に根ざしたネットワーク、社会福祉協議会のネットワークを有効、且つ効率的に活用することができた。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果 各種ボランティア活動の参加及び各養成講座、研修等を「社協だより」「ボランティアバンクだより」等を活用し、広く住民に周知するとともに、ボランティア活動の啓発を行った。			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
		6 その他の成果			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名: 井手町

事業名		健康づくり推進					
事業の概要	保健センターを中心に「健康づくり推進事業」を展開し、住民の自主的な健康づくりを推進するため、健康づくり推進協議会活動の充実をはかる。また、健康相談や健康教育、健康づくりの催しなどを通じて「健康に対する自己管理意識」の啓発を行う。母子保健、成人保健、老人保健などの保健事業の充実を図り「住民の健康増進と疾病予防」を推進し、乳幼児から高齢者まで幅広く住民の健康づくりに取り組む。						
	事業期間	平成20年度					
	総事業費	14,123	本年度事業費	14,123	交付金交付額	4,423	
事業評価	事業の必要性	各種健康づくり事業を行い、疾病の早期発見及び検診後に適正な指導を行うことができ、住民の健康維持並びに増進を図る必要があるため。					
	事業の有効性						
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 各健康づくり事業を行うことにより、住民一人ひとりが自身の健康に関心を持ち、健康に対する認識の向上につながることができた。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

## 2 個別事業評価調書

団体名:井手町

事業名		こどもいきいき未来館			
事業の概要		本町の児童館として位置付けている「いづみ児童館」において、児童・生徒に井手町の将来のまちづくりの礎となってもらために必要な知識・力を培う事業を行う。算数検定や漢字検定、スポーツ活動を実施。			
		事業期間	平成20年度		
		総事業費	5,489	本年度事業費	5,489
事業評価	事業の必要性	児童館に集まる子どもたちが、多くの友達や学年を超えた仲間たちと「楽しく学習やスポーツをする」ことの習慣を身に付ける必要があるため。			
	事業の有効性				
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果 小中学校の教諭と連携協力して実施することにより、学力及び体力のより一層の向上を図ることができた。			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
		6 その他の成果			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：井手町

重点目標	生まれたこと、住んだことを誇れるまち 井手町を目指す		
	事業群	構成事業名	
	明日の井手町を築く住民主体のまちづくり	合併50周年記念事業	
事業群全体による 成果の概要	<p>旧井手町と多賀村が合併をして50周年の節目の年に、住民が主体となり企画した特別記念イベントを開催したことにより、住民主体のまちづくりに大きく寄与することができた。</p> <p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

(記載要領)

- 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名: 井手町

事業名		合併50周年記念事業			
事業の概要		旧井手町と多賀村が合併50周年を迎える節目の年に、住民の意見を反映させた記念式典及び特別イベントを開催。特別イベントでは、50周年にちなみ50メートルの長巻き寿しづくりや餅つき、保育園児と小中学生の絵画や作文を納めるタイムカプセル封入式を行った。			
		事業期間	平成20年度		
		総事業費	2,436	本年度事業費	2,436
事業評価	事業の必要性	これまでの町行政の運営・推進に対して多大な貢献をされた個人及び団体を表彰するとともに、50周年を迎えた喜びを分かち合うため。			
	事業の有効性				
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果 住民が主体となり企画した特別記念イベントを開催することにより、これからのまちづくりに対する考えや思いを再認識することができた。			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

# 市町村未来づくり交付金自己評価調書

## 1 事業群評価調書

団体名：井手町

重点目標	地域内における雇用機会の創出のための対策			
事業群		構成事業名		
緊急雇用・生活支援対策	町道34号線道路維持工事			
事業群全体による 成果の概要	<p>地場産業である地元土木従事者の雇用機会を創出するために、当該事業を実施し、堆積している土砂を撤去することにより、適正な排水処理と道路幅員を確保するとともに、雇用機会を創出することができた。</p> <p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>			
	成果指標		実績値	
	指標式等			

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

## 2 個別事業評価調書

団体名: 井手町

事業名		町道34号線道路維持工事			
事業の概要		堆積している土砂を撤去し健全な道路とするための工事を行う。			
		事業期間	平成20年度		
		総事業費	3,487	本年度事業費	3,487
事業評価	事業の必要性	本路線沿線では、井手町多賀フルーツラインの果樹園がある地域であり、本町を訪れる方も多く、堆積している土砂を撤去し健全な道路とする必要があるため。			
	事業の有効性				
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果 雇用機会の創出を図ることができたとともに、堆積している土砂を撤去することにより、適正な排水処理と道路幅員を確保することができた。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。